

2024~2025年度 地区スローガン

持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable ! Learn together Act together

No.32

2024~2025年度クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、人生をエンジョイ

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30 例会場 勝山市市民交流センター 〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地
TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760 <https://rid2650-pub.com/katsuyama/> Email:katsuyamarc@gmail.com
■会長 斎藤清一郎 ■幹事 久保光子 編集発行・文責 公共イメージ委員会

第3070回 例会 (3月11日)

●会長スピーチ

会長 斎藤 清一郎



今日は東北の大震災から14年目になります。日本は世界一の地震頻発地域で、私共世代が記憶しているだけでも、昭和39年の新潟地震、43年の十勝沖地震、平成6年の北海道東方沖地震、平成7年の阪神淡路大震災、平成23年の東日本大震災、

平成28年の熊本地震、令和6年の能登半島地震など大きな地震を上げましたが、他にも中規模なものは数えきれないほど起きています。

南海トラフ巨大地震がいつ発生してもおかしくないと言われ、予想されるような地震が起きたら日本は壊滅するのではないのでしょうか。

地震、雷、火事、おやじなどと言いますが、大雪などはまだ生易しいものかもしれません。

●幹事報告

幹事 久保 光子

○1月28日のゲスト、櫻川様よりご案内です。

4月13日(日)葵城を再度語る含む演奏会「春爛漫ブレーメン演奏会」福井県民ホールにて開催します。

○先般ご案内した現新会長幹事会を開催する会場を、参加人数の都合で、ジオアリーナから商工会館に変更いたしました。詳しいことはまたお知らせいたしますのでご協力をお願いします。

●出席報告

上山 弥一

3月11日 欠席4名 80.95%
3月4日 欠席4名 80.95%

●ニコニコ報告

山内 政司

姪二人が成人式を迎えて
早退

幅田浩二
和田達也



会員誕生 梅田会員

●委員会報告

●ロータリー財団

上山 弥一

寄付の集まりが少ないようなので再度ご協力をおねがいいたします

●奉仕プロジェクト委員会

鷲田 政憲

ボーズマンサンライズRCのアビーさんより年賀の挨拶が届きました。



本 日 プログラム	ゲスト卓話 永田泰山氏	3月25日 プログラム	会員卓話 滝川会長エレクト	4月1日 プログラム	会員卓話 山内智子会員	4月6日 プログラム	地区大会
--------------	----------------	----------------	------------------	---------------	----------------	---------------	------

ゲスト卓話

ラップランドの暮らしと白山

永田 泰山 氏



ご紹介いただきました、国泰寺の次男の永田泰です。円福山 国泰禅寺 圓成院の住職をしています。最近音楽活動をやっています、白泰山という名前で2023年に白山の歌を出しました。歌ってというのは、一瞬にして心がまとまるというか、伝わるというか、そういう効果があるので歌を用いることにしました。

今日と来週2回にわたって、ラップランドの暮らしのお話、それから白山国立公園の管理が今年で20年目になるのですが、その多様な自然というものをテーマに色々お話を進めていこうと思います。

フィンランド、ロシアも含めたこの辺のエリアをラップランドと言って、サーメという先住民がトナカイ遊牧や、漁をしたりして生活をしている地域で、何千年とそういう生活をしていることということです。

去年の7月にも行ってきました、テントを張っての生活の中で、先住民との交流などをしながら、北欧ラップランドを1000キロ歩いてきたところでのお話になります。

何故そういうところへ行くようになったかという、2007年の共同通信社の新聞で『今年は雪と雨が交互に続いたため地面が固く凍り付いてしまった、トナカイが苔を自力で食べられず大変だった』という記事が目にとまりました。

2007年の2月に北極圏で雨が降り、地面が凍り付いたため苔が食べられなくなったトナカイの約22万頭のうち数千頭が餓死したと推定され、先住民の生活に大きい影響を与えた。という記事でした。これを見て、どういふことか調べに行こうと思ったのがきっかけでした。



3週間分ぐらいの生活に必要なものの全部持って歩くのがトレッキングです。犬と一緒にトレッキングしている人もいます。犬も荷物を背負って歩いています。可愛いでしょ。



2007年に初めて行き、2008年、2010年、2012年、2015年、コロナも色々あって、去年と6回目行って、トータルで1000キロになりました。

2007年に白山国立公園の管理を始めて、今年で20年目になりますが、この当時はまだ2～3年の未熟者で、自分が白山の自然を守ってやろうなどと気負っていました。

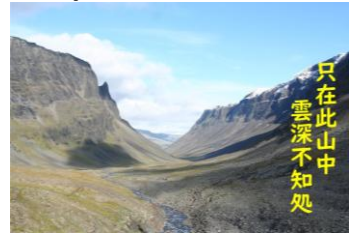
しかしこの大自然を見た瞬間にそんな大それた考えは吹っ飛んでしまいました。

圧倒的な自然を前にして自分に出来る事は、せめてここに来た痕跡を残さずに立ち去るぐらいのことです。

諸国を行脚して教えを請う修行僧（雲水）の事を詠んだ唐時代の禅語が頭をよぎりました。

只在此山中、雲深不知処
唐の詩人 賈島（かとう）

隠者を尋ねて思わず
只此の山中に在らん
雲深くして処を知らず



ラップランドで感じた白山との共通性は、植物や野生動物が白山と酷似していることです。



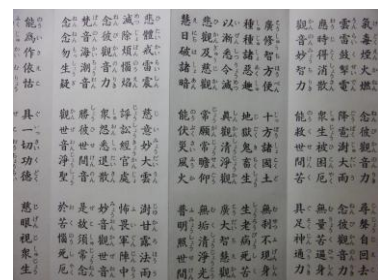
かつて氷河期の動植物はラップランドや日本にも暮らしていました。地球は段々と温暖化してその生息域が北極圏や高山帯に追いやられて行っています。

違い⇒ラップランドでは太陽が沈まない白夜、太陽は昇るのではなく横に移動する。

白山は太陽信仰⇒ご来光を拝むため大勢の人々が白山に登る。



太陽の光はあらゆる災いを抑えて、その恵みは普く一切の人々に平等に分け与えられていると「観音経」に詠まれています。



次回は白山の自然、世界に例のない自然現象についてお話したいと思います。